

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公表番号】特表2016-501875(P2016-501875A)

【公表日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2015-545419(P2015-545419)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/36	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 K	49/00	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	16/36	
C 1 2 N	1/15	Z N A
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 K	49/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月22日(2016.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 配列番号1、2および3により表された重鎖CDRを含む重鎖と、
(b) 配列番号4、5および6により表された軽鎖CDRを含む軽鎖と
を含む抗体。

【請求項2】

前記重鎖のフレームワーク領域が配列番号7、8、9および10により表されるか、または5個以下の保存的アミノ酸置換を有している、および/または

前記軽鎖のフレームワーク領域が配列番号11、12、13および14により表されるか、または5個以下の保存的アミノ酸置換を有している、請求項1に記載の抗体。

【請求項3】

配列番号8の残基14がA1aで置換されているか、または

配列番号9の残基11、13および31が、1つ以上のセリン(残基11)、バリン(残基13)およびイソロイシン(残基31)で置換されている、請求項2に記載の抗体。

【請求項 4】

前記重鎖が配列番号 16 ~ 24 を含む、および / または

前記軽鎖が配列番号 26 ~ 30 を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 5】

配列番号 11 の残基 4 がロイシンで置換されている、および / または

配列番号 13 の残基 12 がアルギニンで置換されている、請求項 3 に記載の抗体。

【請求項 6】

前記抗体が一本鎖抗体であるか、または、 Fab' 、 Fab 、 $F(ab')_2$ 、単一ドメイン抗体、 Fv 、もしくは $sCFv$ などの抗体断片である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の抗体をコードする核酸を含む細胞または細胞系。

【請求項 8】

医薬的に許容可能な担体中に分散した、請求項 1 ~ 6 に記載の前記抗体を含む医薬組成物。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、活性化プロテイン C 抗凝固活性および / または活性化プロテイン C アミド分解活性を阻害する薬剤の製造のための使用。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、血液凝固用薬剤の製造のための使用。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、敗血症治療用薬剤の製造のための使用。

【請求項 12】

前記薬剤が活性化プロテイン C を含む、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、血友病を治療するための、または、止血を調節するための薬剤の製造のための使用。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、血栓症を調節するための薬剤の製造のための使用。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体または請求項 8 に記載の組成物を含むキット。

【請求項 16】

前記抗体が標識されている、請求項 15 に記載のキット。